

◇ 美園小学校の秘密①

【各省認定エコスクール】

本校は文部科学省や農林水産省、経済産業省、環境省からエコスクールとして認可されています。太陽光発電設備(30kw)、屋上緑化、校庭芝生化、雨水利用設備、LED照明(校舎内トイレ等)が設備されています。床や壁の内装仕上げには木材を使用しており、各教室の腰壁は埼玉県産のスギ材です。

南側壁面は、バルコニーをしっかりとって明るさは確保しつつも、直射日光の侵入を防ぐデザインとなっています。



屋上の太陽光発電設備

◇ 美園小学校の秘密②

【方位が45度振られた校舎配置】

本校の校地はほぼ四角形の形状をしているものの、方位は南側に45度振られています。校地の周囲は西側に大型ショッピングセンター、東側は戸建住宅が並び、北側は住宅開発が続けられています。そして、南側は調節池となっています。そこで、各教室の採光性に配慮するとともに、教室からの視線が自然(調節池)につながるように校舎を南側に振り、配置したのです。



南西(正門)側からの鳥瞰図(イメージ)

◇ 美園小学校の秘密③

【景観としての学校】

小学校という大規模公共建築物は、周辺環境への影響を最小限に抑える必要があります。敷地に沿って校舎を配置すれば、日影や歩行者への圧迫感などが生まれ、地域が親しみを抱きにくくなります。そこで、どこから見ても表側というイメージをつくり、近隣に対してオープンで圧迫感のない形態としました。たとえば、東側は、登下校時などには使われませんが、景観としてしっかりつくり込まれています。



東門からの景観(中庭の先に校舎と体育館)

◇ 美園小学校の秘密④

【昇降口までのアプローチ】

校舎が校地に平行でないことと景観を重視したことから、施設中央に配置した玄関、昇降口までのアプローチがしっかりつくりられており、視覚の安定性を確保しています。そのため、登校時、正門と北門をくぐった児童が校舎に入るまでに期待感を高めたり、「これから学校で学ぶのだ」という気持ちを切り替えたりする余裕が生まれるように考えられています。子どもたちは、「今日もがんばろう」という気持ちを胸に昇降口を目指していることでしょう。



正門から昇降口(ガラススクリーンの奥)を望む